

ICAM エステティック部門 アドバンストエステティシャン ライセンス試験実施要項

■ ライセンス種別と試験課目

試験名	試験科目
ICAM エステティック部門 アドバンストエステティシャン	<input type="checkbox"/> 筆記 60分 <input type="checkbox"/> 実技 150分

■ 費用

認定資格名	受験料	証書発行料
アドバンストエステティシャン	20,000 円 (税込 22,000 円)	20,000 円 (税込 22,000 円)

※ICAM メンバーシップ (会員) のご登録が必須になります。

■ 必要資格

- ICAM メンバーシップ (会員) に登録している者
- 下記いずれかに該当する者
 - ① 実務経験3年以上を有する
 - ② JEEC 合格者は実務経験2年以上
 - ③ ICAM 認定校において900時間のカリキュラムを履修・修了

■ 試験日時

試験日：2021年3月13日(土) 開場：09:30～

※詳しいタイムスケジュールは、受験票をご確認ください。

■ 試験会場

グラサアカデミー熊本校

〒860-0807

熊本市中央区下通 2-3-1

エスキュービック 5F

TEL: 096-211-1500



■ 試験内容

(1) 筆記：60分

- ①出題傾向：四択・用語選択・穴埋め・〇×・記述 問題数 約40問
- ②出題内容：エステティック概論・関連法規・カウンセリング・皮膚科学・解剖生理学・栄養学・衛生学
化粧品学・電気学・毛髪学・実技理論

(2) 実技：150分

試験科目：フェイシャル（カルテ記入有）およびボディトリートメント

<フェイシャル>

当日課題発表（文章形式・スキンタイプ指定）

- ・課題に対応した美容機器を1種必ず取り入れること
- ・ディーブクレンジング、パック：塗布範囲は顔と首（鎖骨は含まれない）
- ・フェイシャルマッサージ：デコルテ、首、顔
※基本6手技（軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、振動法、圧迫法）等の手技を用いて課題に沿って
選択し、フェイシャルマッサージを組み立てる

◆チェックポイント

1. スキンタイプ別トリートメントの組み立てとテクニック
 - ①エステティシャンチェックポイントが含まれる
 - ②強弱・リズム・肌別手技
 - ③時間配分
2. 化粧品の選択と使用方法
3. フェイシャルカルテ記入
課題に応じて、カルテに必要な事項を記入
※カルテ見本・記入例を事前に確認のこと

<ボディ>

当日課題発表（文章形式・文章より体の状態を読み取りトリートメントを組み立てる、箇所指定）

- ・ボディ（スウェディッシュ）マッサージ：背部、背面下肢、前面下肢、上肢、腹部より2箇所
※基本6手技（軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、振動法、圧迫法）など様々な手技を用いて、課題で
言及されている体の状態（冷え・肩や腰のコリ・浮腫など）を考慮し、組み立てる。

◆チェックポイント

1. 課題に応じたトリートメントの組み立てとテクニック
 - ①エステティシャンチェックポイントが含まれる
 - ②強弱・リズム・手技の正確さ
2. 時間配分

<課題例>

フェイシャル：結婚式を5日後に控えた23才の女性です。お顔には大きなトラブルもなく、肌理もほとんど整った状態です。全体に艶もあり、色素の濃淡もありません。当日の化粧乗りを良くする目的で、スチーマー以外の美容機器を1種以上使用して、フェイシャルトリートメントを行いなさい。（スチーマーの使用は自由ですが、1種には含まれません。）

ボディ：アパレル関係の仕事をしている方です。立ち仕事によって下腿部が常に浮腫んでいます。また、長時間の立ち仕事によって血行が妨げられ、腰部の筋肉にも「コリ」が見られます。この方に合ったボディマッサージを背部と下肢に行いなさい。

※モデルについて

フェイシャル試験の際は必ずメイクをしてください。
ファンデーション、口紅、アイシャドウ、マスカラ、アイライン、チーク必須
アクセサリ、コンタクトは事前に外しておいてください。

【モデルになれない方】

アートメイクをされている方
まつ毛エクステーションをされている方
極度の敏感肌、感染症などトリートメントに支障をきたす恐れのある方

■ 準備物（受験者が持参）・服装

1. 実技試験準備物

①化粧品：クレンジング料、ディープクレンジング料、マッサージ用の化粧品、パック料、化粧水、乳液、美容液、クリームなど実技に必要な化粧品一式 スキンタイプ別に全てご持参ください。

- *ディープクレンジング料：粒子有り（ゴマージュ可）粒子無しのクリームタイプ
- *パック料：拭き取りが必要なクリームタイプ（シート・ピールオフ・半透明不可）
- *マッサージ用化粧品：オイル、ジェル、クリームなどをご持参ください。
- *ポイントメイク用クレンジング料など必要に応じてご持参ください。
- *使用する美容機器に必要な化粧品

②備 品：シーツ類、タオル（必要枚数）、ターバン（タオルターバン可）、コットン、ハケ類、ボール、シャーレ（ガラス容器など）、スパチュラ、精製水入れ、スポンジ類
モデル用スリッパ、ガウン、ペーパーショーツ、ティッシュ、トレイ、綿棒、容器類など実技に必要な備品一式

③美容機器：詳しくはICAM JAPAN までお問合せください。

④その他：消毒液、マスク、クリップボード、筆記用具
※受験者はマスクを着用し、必要に応じてゴーグル・フェイスシールドを着用する。
※モデルはマスクを付帯し、必要に応じてマスクを着用する。

シーツ類：柄物不可、汚れ、ホツレのない清潔な物、色指定は無し（白が望ましい）
ベッドメイキングに決まりはありません。
シーツ、上掛け、タオルケットなど必要に応じてご持参ください。
フェイスタオル類：柄物不可、色指定無し（白が望ましい）、汚れのない清潔な物。
拭き取り：コットン、スポンジ、スポンジチーフなど日常使用されているものをご持参ください。

2. 服装

実技が行える服装・シューズ

3. その他

筆記用具・受験票

4. 会場準備物

ベッド・ワゴン・スツール・ゴミ箱・ホットキャビネット・純水器・会場用時計・フェイシャル用複合機（スチーマー、吸引など） ※会場により異なる

■ ライセンス受験から取得までの流れ

1. ICAM ライセンス試験実施要項（本書）をよくご確認ください。
2. 受験をご希望の場合は、ICAM JAPAN ホームページより、「ICAM メンバーシップ入会申請書」および「ICAM ライセンス試験受験願書」をダウンロードし、必要事項を漏れなくご記入ください。
また、指定の口座に「ライセンス受験料」と「メンバー入会費」をお振込みください。
※すでに ICAM メンバーの方は、「入会申請書」の提出は必要ありません。
3. 2.の書類を期日（ICAM ホームページ NEWS & EVENT に掲載されています。）迄に ICAM JAPAN までご郵送ください。
4. ライセンス試験日のおよそ 3 週間前に「受験票」が ICAM より届きます。こちらで日時・会場等ご確認ください。
5. 当日は ICAM 試験官および ICAM 関係者の指示に従い、受験してください。
6. 試験後、約 3 週間で合否通知が郵送されます。合格の場合は、ライセンス証書発行料の案内が同封されておりますので、期日までに納付してください。
7. 発行料納付後より発行の手続きになりますので、およそ 1 ヶ月でご自宅にお届け致します。

■ お問い合わせ先

一般財団法人 ICAM JAPAN 試験課

〒160-0022

東京都新宿区新宿 5-17-2 YMビル 302

TEL : 03(6205)5870

別紙01

ライセンス試験 タイムスケジュール（熊本会場）

＜アドバンストエステティシャン＞

注意）下記タイムスケジュールは、受験者数により変動が生じます。
より正確なタイムスケジュールは、「受験票」に記載されていますので必ずご確認ください。

2021年3月13日（土）09:30～
筆記・実技試験会場：グラサアカデミー熊本校

時間	内容
09:30～10:30	会場入り *実技試験準備 *控室で着替えを済ませた後、実技試験準備を行ってください。 *会場担当者が「ベッド番号札」を渡します。
10:30～13:00	実技試験（150分） *実技試験開始5分前には、モデルと共に待機してください。 *試験官の合図で試験開始となります。 *150分の中で、試験科目（フェイシャル・ボディ）を終了してください。 *試験開始後に控室へ戻ることはできません。
13:00～14:00	片付け / 筆記試験準備
14:00～15:00	筆記試験（60分） *筆記試験5分前には必ず着席してください。 *テキスト・ノート等は試験開始5分前には片付けてください。
15:00～	試験終了 *片付けを行ってください。

■諸注意

荷物に関する諸注意

- ・荷物は必ず試験前日午後指定で、発送してください。
- ・元払い伝票にて発送、赤で目立つように「ICAM 実技試験荷物」「割れ物注意」を明記のこと
- ・荷物の返送は、会場にて着払伝票をお渡します。
- ・荷物の梱包は、液体などが漏れないように注意してください。
- ・梱包用ガムテープをご持参ください。

その他の諸注意

- ・昼食は所定の場所をお願い致します。
- ・会場敷地内は禁煙になります。
- ・その他、不明な点があれば担当試験官にお尋ねください。
- ・試験会場内では、携帯電話は必ずマナーモードに設定してください。
- ・試験中、携帯電話を時計として使用することは認めません。